文部科学省委託事業
令和５年度ふくしまの未来をひらく読書の力　プロジェクト
「読書活動推進事業～子どもたちの読書環境の充実のために～」

主な内容

これからの読書活動推進に欠かせない、４つの視点で講義を行います！

- ○ 子どもの視点に立った読書活動
- ○ デジタル社会に対応した読書活動
- ○ 多様な子どもたちの読書活動
- ○ 学校と公立図書館との連携

対象者

学校司書・公立図書館司書、読書ボランティア、

保育園・幼稚園教諭、小・中・高校教諭等、

読書活動推進に関心のある方

その他

[参加料/無料]

[申込期限/令和6年1月16(火)]

[申込方法]

①２次元コードで申込
②申込書に必要事項を記入し、郵送、メール、ＦＡＸで申込

※ 教育庁社会教育課のホームページからも申込書をダウロードできます。

[TEL　024-521-7799]
[FAX　024-521-7974]
[k.syakaikyouiku@pref.fukushima.lg.jp]
[https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/70016a/]

[主催/福島県教育委員会]

日程

令和6年1月23日(火)
9:00～16:00

※ オンライン及びオンデマンドで実施

※ １つの講義６０分程度、お好きな講義のみ参加可能！
※ 講義は当日から1/28まで期間限定配信予定！

講義①：子どもの視点について　9:20～10:30

埼玉県立飯能高等学校　主任司書

湯川　康宏　氏

埼玉県立熊谷・久喜・浦和図書館で20年近く勤務。その間、寄居町立図書館副館長、飯能市立図書館長として出向し、公共図書館の運営・設立に携わる。平成28年4月より県立飯能高校に転出し現在に至る。日本図書館協会認定司書（第1期）関心領域は中小図書館の運営。ユニークサービスの実践。令和2年6月より朝日新聞埼玉版・栃木版で高校図書館を題材にしたコラムを連載中。

講義②：デジタル社会への対応について　10:50～12:00

長野県高森町立高森北小学校・
高森町子ども読書支援センター　司書

宮澤　優子　氏

キャリアスタートは公共図書館。出産・育児のため退職、復帰以降小学校の学校司書を16年。高森町に子ども読書センターを立ち上げる。GIGAスクール構想に伴い学校図書館を情報センターとしてレベルアップさせるためGoogle認定教育者Lev.1、Lev.2取得、校内のICT担当を兼任。教育著作権フォーラム初中等ワーキンググループメンバー。日本デジタル・シティズンシップ教育研究会専門委員。

講義③：多様な子どもたちについて　13:20～14:30

星槎大学特任教授／認定NPO法人エッジ会長

藤堂　栄子　氏

慶應義塾大学法学部政治学科卒。星槎大学大学院教育研究科修士課程修了。法学士、教育学修士。ディスレクシアの研究者・支援者・保護者・当事者・活動家。日本発達障害ネットワークの理事、副理事、文部科学省特別支援ネットワーク推進委員会の他、発達障害者支援法、障害者差別解消法、読書バリアフリー法などの制定にも関わり、内閣府や国土交通省、厚生労働省などの関係委員を歴任。著書に『ディスレクシアでも大丈夫!―読み書きの困難とステキな可能性』（ぶどう社）他

講義④：学校と公立図書館との連携について　14:50～16:00

新潟市立中央図書館

学校図書館支援センターは、「新潟市教育ビジョン」及び「新潟市子ども読書活動推進計画」に基づき、学校図書館の利活用を進め、子どもの読書活動を推進することを目的に市立図書館に設置される。学校司書への支援、学校における読書活動と計画的・継続的な学校図書館の利活用の推進を目指している。